

■ 大学院会計研究科 宮本勝浩教授らが検証 ■  
**「大阪道頓堀のグリコの新電光看板」の経済波及効果**  
**大阪府を含む日本全国で初年度約291億1,300万円**

このたび、大学院会計研究科（会計専門職大学院）の宮本勝浩教授らが、2014年秋頃にリニューアル予定の「大阪道頓堀のグリコの新電光看板」の経済波及効果について予測し、計算の結果、初年度の経済波及効果は大阪府で約125億4,900万円、全国では約291億1,300万円となりました。

分析結果について、別紙にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 「大阪道頓堀のグリコの新電光看板の経済波及効果」
- 2 発表者 関西大学 大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩  
大阪府立大学 客員研究員 王 秀芳
- 3 発表日 2014年7月17日（木）
- 4 内 容 [1] はじめに  
[2] 直接効果の項目  
[3] 直接効果の総計  
[4] 経済波及効果  
[5] 結論

以 上

※ 分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記してください。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、依藤  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266  
www.kansai-u.ac.jp

この伝統を、超える未来を。



## ■ プロフィール

氏 名 宮本 勝浩 (みやもと・かつひろ)

生年月日 昭和20年1月12日 (69歳)

本 籍 和歌山県

現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授

学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了  
経済学博士 (神戸大学)

職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、平成18年4月より現職  
この間 アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同済大学、  
南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任

専門分野 国際経済学 (移行経済論)、理論経済学、関西経済論、スポーツ経済学

著 書 「大阪経済学」共著、経営書院、「移行経済の理論」中央経済社など

公 職 (元) 財務省財政制度等審議会臨時委員  
総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員  
大阪広域水道企業団経営・事業評価委員会委員長  
公益財団法人大阪府市町村振興協会理事  
吹田市特別職報酬等審議会委員  
公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長  
財団法人堺都市政策研究所理事長 など

業 績

2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」などを発表

2006年 「2008年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディープインパクトの経済効果」などを発表

2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」などを発表

2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」、「くいだおれ人形の経済波及効果」、「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」などを発表

2009年 「WBCの経済波及効果」、「タバコ値上げの経済効果」、「奈良県桜井市の邪馬台国遺跡発見の経済波及効果」などを発表

2010年 「カナダ・バンクーバー五輪 日本における経済波及効果」を発表  
「奈良の大仏の建造費用」を発表  
「大阪マラソンの経済波及効果」を発表  
「USJ10周年の経済波及効果」を発表

2011年 「上野動物園のパンダ リーリーとシンシンの経済波及効果」を発表  
「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録による経済波及効果」を発表  
「東京ディズニーシー開園10周年の経済波及効果」を発表  
「大阪マラソンの経済波及効果の検証」を発表

2012年 「天橋立世界文化遺産登録の経済波及効果」を発表  
「USJ今後10年間の経済波及効果予測」を発表  
「金環日食の経済波及効果」を発表  
「第24回なにわ淀川花火大会の経済波及効果」を発表

2013年 「あべのハルカス グランドオープンの経済波及効果」を発表  
「第2回大阪マラソンの経済波及効果の検証」を発表  
「『街コン』の経済波及効果」を発表  
「天神祭2013の経済波及効果」を発表  
「理系の女性研究者が増加した時の経済波及効果」を発表  
「東北楽天ゴールデンイーグルス優勝の経済波及効果」を発表

2014年 「田中将大投手のヤンキース入団の経済波及効果」を発表

推計方法および分析結果の無断転載・無断転用を防ぐため、ウェブサイトには詳細を掲載しておりません。

ご入用の方は、関西大学広報課まで、ご連絡くださいますようお願いいたします。

---

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、依藤

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

[www.kansai-u.ac.jp](http://www.kansai-u.ac.jp)

この伝統を、超える未来を。

